

HEADLINE

●第4次図書贈呈交流団が元気に帰国しました！

★第4次図書贈呈交流団が元気に帰国しました！

～モンゴル国オブス県マルチン郡の小中学校の子どもたちに図書を贈呈～

6月4日(火)午後、第4次図書贈呈交流団のメンバー8名が関西空港に到着しました。無事に日本まで辿り着けた安堵と共に、モンゴルでの活動の充実感に満ち溢れていました。

三枝団長のメッセージ

今回の旅は、オブス県マルチン郡への図書贈呈や折り紙やそろばんなどの文化交流、バレーボール対決や持久走対決などのスポーツ交流のほか、オブス県知事と県議長への表敬訪問、ウランゴム郡にある小中高等学校の訪問など、さまざまな交流を行ってきました。

図書贈呈式では、この3年間に実施した古本市やガレッジセールでの収益、皆さんからの心温まる寄付金などで購入した約150冊の図書やバレーボール、バスケットボールなどのスポーツ用品を贈呈することができました。

また、当ユニオン及び神鋼鋼線労組のご家族、子どもさんたちが描いた絵画展や、3月に来日したモンゴル国オブス県マルチン郡教育施設視察団が訪問した学校紹介のパネルなどの展示を行い、準備中からマルチン郡の多くの方々が集まって大盛況となりました。

今回の交流団を通じて、メンバー全員が多くのものを得ることができたと思います。印象に残ったこと、感動したこと、それぞれ違うとは思いますが、共通して言えることは、この活動に参加することで自分自身の成長を実感できたことです。メンバーの一人ひとりが、この旅で得た熱い思いを、後輩や周りの皆さんに伝えることで、さらなる発展につながるよう私自身も尽力していきたいと思います。

いずれにしても、今回も皆さんの温かいご支援の気持ちを、確かにマルチン郡まで届けることができました。今後も末永くこの交流が続けられるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。素晴らしい経験をさせていただき、本当にありがとうございました。



▲マルチン郡小中学校校長先生に目録を贈呈する三枝団長



第4次図書贈呈交流団の日程

- 5/28 日本発 → モンゴル:ウランバートル着
- 5/29 ウランバートル → オブス県ウランゴム郡:小中高等学校訪問
- 5/30 ウランゴム郡 → オブス県マルチン郡:文化交流(折紙、そろばん教室)
- 5/31 マルチン郡長表敬訪問、小中学校訪問・視察、
スポーツ交流、図書贈呈式、絵画・パネル展
- 6/1 マルチン郡 → オブス県ウランゴム郡:オブス県知事・県議長表敬訪問
- 6/2 ウランゴム郡 → ウランバートル
- 6/3 ウランバートル市内散策
- 6/4 ウランバートル → 日本到着

←神鋼鋼線工業労働組合のこれまでの活動に対してマルチン郡郡長より同労組浦崎委員長へ感謝状が贈呈されました

(写真は同労組を代表して感謝状を受け取る丸山執行委員)



▲6月1日から5月31日に変更となったにもかかわらず、贈呈式にはたくさんのマルチン郡の皆さんが駆けつけてくれました



▲意外に大きいラクダ。そのラクダに跨がる体格の良い山田さん



▲今回初めて訪問したウランゴム郡の中小高校



▲オブス県ツェンデスレン知事(元マルチン郡郡長)を表敬訪問した交流団一行



▲折り紙教室の後で



▲持久走で真剣勝負！藤澤さんが優勝しました！

★参加したメンバーからの感想抜粋★

【細谷さん】 モンゴルの、マルチンの皆さんは、とても温かく私たちのことを迎えてくれて、モンゴルが大好きになりました。短い時間でしたが、モンゴルの歴史や文化を学ぶことができ、日本に帰ってからも勉強したいと思いました。

【内田さん】 私が一番印象に残っている思い出は、モンゴルの子もたちと交流できたことです。子どもたちの笑顔で元気をもらえました。日本に帰っても、モンゴルで感じた気持ちを忘れずに頑張っていこうと思います。

【藤澤さん】 私たちを温かく迎えていただき、とても感謝します。慣れない食事、道無き道の移動。苦労も多かったですが、自分が生活している日本と全く違うモンゴルの、マルチン郡での体験は刺激的で勉強になりました。

【薫さん】 この旅を通じて、モンゴルの経済・環境・文化を知り、さらに深く知りたいという意識が芽生えました。今後もこの交流を続けていければと思いますので、是非ともよろしくお願いします。

【小野田さん】 体力的に大変だった分、本当のモンゴルを味わえたと思います。モンゴルのことが大好きになりました。これから、モンゴルのことを勉強します。そして、自分の国のことももっと知りたいと思います。

【丸山さん(鋼線労組)】 マルチン郡に到着した時、バスでの長時間移動のため疲れていましたが、その直後に行われた折紙教室で子どもたちの無邪気な笑顔と一緒に時を過ごせて、疲れも忘れ楽しめました。

【山田さん(鋼線労組)】 モンゴルでの8日間、貴重な体験ができて、本当に良かったです。日本での生活に戻っても今回の良い体験を生かして頑張っていきたいです。

(詳細は後日発行の要録集をご覧ください。)